

## 基本計画書

基本計画									
事項	記入欄							備考	
計画の区分	研究科の専攻に係る課程の変更								
フリガナ設置者	コウリツダイガクホウジン フクオカジョシダイガク 公立大学法人 福岡女子大学								
フリガナ大学の名称	フクオカジョシダイガクダイガクイン 福岡女子大学大学院 (Fukuoka Women's University Graduate School)								
大学の位置	福岡県福岡市東区香住ヶ丘1丁目1番1号								
大学の目的	学術の理論及び応用を教授研究し、精深な学識と研究能力等を養い、文化の進展に寄与することを目的とする。								
新設学部等の目的	<p>平成27年度に設置された人間環境科学研究科修士課程の理念は、「健康な生活を支える環境調和型社会づくり」に関する専門知識と技術を理解し、独創性と先端性に優れた研究を可能とする能力を身につけた女性人材を育成することであった。また、3専攻からなる既設研究科を1専攻に改編することにより、個別化された専門的研究のみならず他領域の専門研究との統合化ができ、現代社会の著しい変化・進展に対応できる総合的な判断力を備え、かつ、地域社会から国際社会までの様々なレベルで直面している課題の解決に貢献できる、高度な専門能力と幅広い視野を持つ女性人材を育成する体制が整えられた。</p> <p>この延長線上で設置される博士後期課程では、さらに高度な俯瞰的視野や課題解決力を醸成することによって、また、研究指導を通じて、自立して研究活動を行い、その成果を総合評価する能力を有し、先導的に学際的領域を創成できる人材を育成することを目的とする。また、学際研究の遂行に必要な広い分野の知識と技術をもとに研究分野を先導し、社会の多様な場で中核的専門人材として活躍できる女性の育成を目指す。</p>								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	人間環境科学研究科 (Graduate School of Health and Environmental Sciences) 人間環境科学専攻 (D) (Doctor's Program for Health and Environmental Sciences) 計	3年	3人	—人	9人	博士 (人間環境科学)	平成29年4月 第1年次	福岡県福岡市東区香住ヶ丘1丁目1番1号	
			3		9			【基礎となる学部等】 国際文理学部 環境科学科 食・健康学科 人間環境科学研究科 人間環境科学専攻 (M) 14条特例の実施	
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)		人文社会科学研究科社会科学専攻の課程変更(博士課程) ( 2)(平成28年3月認可申請) 人文社会科学研究科言語文化専攻の課程変更(博士課程) ( 2)(平成28年4月届出) 文学研究科(廃止) 英文学専攻(博士後期課程) (△ 3) ※平成29年4月学生募集停止							
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
	人間環境科学研究科 人間環境科学専攻博士後期課程	講義	演習	実験・実習	計	16単位			
教員組織概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
	新設	人間環境科学研究科 人間環境科学専攻 (D)	9人 (9)	6人 (6)	0人 (0)	0人 (0)	15人 (15)	0人 (0)	4人 (4)
		人文社会科学研究科 言語文化専攻 (D)	8人 (8)	1人 (1)	0人 (0)	0人 (0)	9人 (9)	0人 (0)	4人 (4)
		人文社会科学研究科 社会科学専攻 (D)	6人 (6)	4人 (4)	0人 (0)	0人 (0)	10人 (10)	0人 (0)	4人 (4)
		計	23人 (23)	11人 (11)	0人 (0)	0人 (0)	34人 (34)	0人 (0)	12人 (12)
	既設	人間環境科学研究科 人間環境科学専攻 (M)	16人 (16)	10人 (10)	5人 (5)	0人 (0)	31人 (31)	0人 (0)	12人 (12)
		人文社会科学研究科 言語文化専攻 (M)	9人 (9)	5人 (5)	1人 (1)	0人 (0)	15人 (15)	0人 (0)	14人 (14)
		人文社会科学研究科 社会科学専攻 (M)	9人 (9)	9人 (9)	0人 (0)	0人 (0)	18人 (18)	0人 (0)	6人 (6)
		計	34人 (34)	23人 (23)	6人 (6)	0人 (0)	63人 (63)	0人 (0)	12人 (12)
	合計		37人 (37)	23人 (23)	6人 (6)	0人 (0)	66人 (66)	0人 (0)	23人 (23)

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計					
	事 務 職 員		28 (27) 人	22 (22) 人	50 (49) 人					
	技 術 職 員		0 (0)	1 (1)	1 (1)					
	図 書 館 専 門 職 員		1 (0)	3 (4)	4 (4)					
	そ の 他 の 職 員		1 (1)	0 (0)	1 (1)					
	計		30 (28)	26 (27)	56 (55)					
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	校 舎 敷 地	37,543.58㎡	0㎡	0㎡	37,543.58㎡					
	運 動 場 用 地	4,018.50㎡	0㎡	0㎡	4,018.50㎡					
	小 計	41,562.08㎡	0㎡	0㎡	41,562.08㎡					
	そ の 他	14,333.99㎡	0㎡	0㎡	14,333.99㎡					
	合 計		55,896.07㎡	0㎡	55,896.07㎡					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
		26,404.1㎡ ( 28,443.1㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	26,404.1㎡ ( 28,443.1㎡)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体				
	13室	7室	27室	2室 (補助職員 0人)	8室 (補助職員 0人)					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数						
		人間環境科学研究科人間環境科学専攻(D)		15 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	研究科単位での特定不能なため、大学全体の数		
	人間環境科学研究科 人間環境科学専攻(D)	188,612 [45,401] (183,402 [45,401])	2,612 [244] (2,612 [244])	14 [14] (14 [14])	1,516 (1,516)	125 (125)	0 (0)			
	計	188,612 [45,401] (183,402 [45,401])	2,612 [244] (2,612 [244])	14 [14] (14 [14])	1,516 (1,516)	125 (125)	0 (0)			
図 書 館		面積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数			大学全体		
		2,448.1㎡	250		220,000					
体 育 館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要					弓道場H29年度完成予定		
		1,286.8㎡	弓道場							
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書費は大学院全体
		教員1人当り研究費等		828千円	828千円	828千円	— 千円	— 千円	— 千円	
		共同研究費等		355千円	355千円	355千円	— 千円	— 千円	— 千円	
		図書購入費	5,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円	— 千円	— 千円	— 千円	
	設備購入費	0千円	0千円	0千円	0千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	県外生の第1年次の納付金は、1,056千円			
	818千円	536千円	536千円	— 千円	— 千円	— 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要			福岡県(設立団体)からの運営費交付金により維持する。							
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 の 名 称 福岡女子大学									
	学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍		福岡県福岡市東区香住ヶ丘1丁目1番1号	
	文学部						—			
	国文学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	昭和29年度	平成23年度より学生募集停止	
	英文学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	昭和29年度	平成23年度より学生募集停止	
	人間環境学部						—			
	環境理学科	4	—	—	—	学士(人間環境学)	—	平成7年度	平成23年度より学生募集停止	
	栄養健康科学科	4	—	—	—	学士(人間環境学)	—	平成7年度	平成23年度より学生募集停止	
	生活環境学科	4	—	—	—	学士(人間環境学)	—	平成7年度	平成23年度より学生募集停止	
国際文理学部						1.03				
国際教養学科	4	135	—	540	学士(国際教養)	1.04	平成23年度			
環境科学科	4	70	—	280	学士(環境科学)	1.02	平成23年度			
食・健康学科	4	35	—	140	学士(食健康学)	1.03	平成23年度			

既設大学等の状況	文学研究科						—		
	国文学専攻(M)	2	5	—	10	修士(文学)	—	平成5年度	平成27年度より学生募集停止
	英文学専攻(M)	2	5	—	10	修士(文学)	—	平成5年度	平成27年度より学生募集停止
	英文学専攻(D)	3	3	—	9	博士(文学)	—	平成9年度	平成29年度より学生募集停止
	人間環境学研究科						—		
	環境理学専攻(M)	2	4	—	8	修士(人間環境学)	—	平成12年度	平成27年度より学生募集停止
	栄養健康科学専攻(M)	2	4	—	8	修士(人間環境学)	—	平成12年度	平成27年度より学生募集停止
	生活環境学専攻(M)	2	4	—	8	修士(人間環境学)	—	平成12年度	平成27年度より学生募集停止
	人文社会科学研究科						1.06		
	言語文化専攻(M)	2	4	—	8	修士(文学)	1.12	平成27年度	
	社会科学専攻(M)	2	4	—	8	修士(社会科学)	1.00	平成27年度	
	人間環境科学研究科						0.91		
人間環境科学専攻(M)	2	12	—	24	修士(人間環境科学)	0.91	平成27年度		
附属施設の概要	該当なし								

公立大学法人福岡女子大学 設置認可等に関わる組織の移行表

平成28年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員		平成29年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
福岡女子大学				→	福岡女子大学				
国際文理学部					国際文理学部				
国際教養学科	135	-	540		国際教養学科	135	-	540	
環境科学科	70	-	280		環境科学科	70	-	280	
食・健康科学科	35	-	140		食・健康科学科	35	-	140	
計	240	-	960		計	240	-	960	
福岡女子大学大学院				→	福岡女子大学大学院				
人文社会科学研究科					人文社会科学研究科				
言語文化専攻(M)	4	-	8		言語文化専攻(M)	4	-	8	
社会科学専攻(M)	4	-	8		<u>言語文化専攻(D)</u>	<u>2</u>	-	<u>6</u>	課程変更(届出)
					社会科学専攻(M)	4	-	8	
					<u>社会科学専攻(D)</u>	<u>2</u>	-	<u>6</u>	課程変更(認可申請)
人間環境科学研究科					人間環境科学研究科				
人間環境科学専攻(M)	12	-	24		人間環境科学専攻(M)	12	-	24	
					<u>人間環境科学専攻(D)</u>	<u>3</u>	-	<u>9</u>	課程変更(認可申請)
文学研究科					文学研究科				
英文学専攻(D)	3	-	9			<u>0</u>	-	<u>0</u>	平成29年4月学生募集停止
計	23	-	49		計	<u>27</u>	-	<u>61</u>	

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要															
(人間環境科学研究科人間環境科学専攻(D))															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	キャリア・デザインとライフ・プラン	1・2・3前		2		○									兼1
	デザイン思考	1・2・3前		2			○								兼1
	リーダーシップ特別演習	1・2・3前		2			○								兼1 ※講義
	研究の倫理と方法	1・2・3前		2		○									兼1
	小計（4科目）	—	0	8	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼4
専門科目	人間環境科学特殊演習	1・2・3通		2			○		3						オムニバス・共同（一部） オムニバス・共同（一部）
	専門職特殊研修	1・2・3通		2				○	2	1					
	人間環境科学特殊研修	1・2・3通		2			○		9	6					
	小計（3科目）	—	0	6	0	—	—	—	9	6	0	0	0	—	
特殊研究科目	環境科学	環境科学特殊研究Ⅰ	1通	4				○	5	4					
		環境科学特殊研究Ⅱ	2通	4				○	5	4					
		環境科学特殊研究Ⅲ	3通	4					○	5	4				
	栄養健康科学	栄養健康科学特殊研究Ⅰ	1通	4					○	4	2				
		栄養健康科学特殊研究Ⅱ	2通	4					○	4	2				
		栄養健康科学特殊研究Ⅲ	3通	4					○	4	2				
	小計（6科目）		—	24	0	0	—	—	—	9	6	0	0	0	—
合計（13科目）		—	24	14	0	—	—	—	9	6	0	0	0	兼4	—
学位又は称号		博士（人間環境科学）		学位又は学科の分野			家政関係・理学関係								
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
基礎科目から2単位以上、専門科目から2単位以上、特殊研究科目から12単位修得すること。よって、卒業に必要な単位数は16単位以上。 博士論文の審査及び最終試験に合格すること。								1学年の学期区分			2期				
								1学期の授業期間			15週				
								1時限の授業時間			90分				



教 育 課 程 等 の 概 要															
(人間環境科学研究科人間環境科学専攻(M))															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	人間工学特論	1・2前		2		○				1					兼1 隔年 兼1 隔年 オムニバス・共同(一部)
	環境エネルギー学特論	1・2後		2		○									
	環境マネジメント科学特別講義Ⅰ(環境生活系)	1・2前		2		○									
	環境マネジメント科学特別講義Ⅱ(環境政策系)	1・2前		2		○				1	3				
	小計(63科目)	—	0	126	0	—				16	9	5	0	0	
基本科目	人間環境科学特論	1・2前	2			○			4						オムニバス
	人間環境科学特別演習	1・2後	2				○		4						
	小計(2科目)	—	4	0	0	—			4	0	0	0	0	0	—
研究科共通科目	国際研究活動	1~2通		2				○	2	1	1				オムニバス・共同(一部)
	国際インターンシップ	1~2通		2				○	2	1	1				オムニバス・共同(一部)
	専門職特別研修	1~2通		2				○	2						オムニバス・共同(一部)
	特別研究	1~2通	10					○	13	2					オムニバス・共同(一部)
	小計(4科目)	—	10	6	0	—			15	3	1	0	0	0	—
合計(69科目)		—	14	132	0	—			16	10	5	0	0	0	兼12
学位又は称号		修士(人間環境科学)			学位又は学科の分野			家政関係・理学関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
1) 修士課程の修了には、各自の研究分野に従い、指導教員の研究指導の下に、所定の34単位(基本科目4単位、専門科目と研究科共通科目から20単位以上、特別研究10単位)以上を修得し、かつ修士論文の審査並びに最終試験に合格しなければならない。 2) 基本科目および特別研究は必修であり、それ以外の授業科目は選択である。 3) 特別演習の単位は、その関連の特論の単位を修得した者のみに認める。 4) 入学後に決定した所属領域の専門科目を14単位以上を修得し、所属領域以外の2領域からそれぞれ2単位以上(計4単位以上)を修得すること。 5) 特に指定された場合を除いて、同一科目を二度履修しても単位は与えられない。							1学年の学期区分				2学期				
							1学期の授業期間				1.5週				
							1時限の授業時間				90分				

別記様式第2号(その2の1)

教育課程等の概要																
(国際文学部 環境科学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
学部共通科目	ファーストイヤー・ゼミ	ファーストイヤー・ゼミⅠ	1前	1				○			10	7	4		兼49	
		ファーストイヤー・ゼミⅡ	1後	1				○			10	7	4		兼49	
		小計( 2 科目)		2	0	0		—			10	7	4	0	0	兼49
	学術英語プログラム (AEP)	学術英語コミュニケーションⅠ	1前	1					○							兼10
		学術英語コミュニケーションⅡ	1後	1					○							兼11
		学術英語コミュニケーションⅢ	2前	1					○							兼12
		学術英語コミュニケーションⅣ	2後	1					○							兼14
		学術英語リスニングⅠ	1前	1					○							兼10
		学術英語リスニングⅡ	1後	1					○							兼9
		学術英語リーディングⅠ	1前	1					○							兼13
		学術英語リーディングⅡ	1前	1					○							兼13
		学術英語リーディングⅢ	1後	1					○							兼13
		学術英語リーディングⅣ	1後	1					○							兼14
		学術英語リーディングⅤ	2前	1					○							兼15
		学術英語ライティングⅠ	1前	1					○							兼12
		学術英語ライティングⅡ	1後	1					○							兼12
		学術英語ライティングⅢ	2前	1					○							兼10
		学術英語ライティングⅣ	2後	1					○							兼15
	小計( 15 科目)		15	0	0		—			0	0	0	0	0	兼33	
	学術日本語プログラム (AJP)	学術日本語リーディングⅠ	1前			1			○							兼2
学術日本語リーディングⅡ		1後			1			○							兼2	
学術日本語リーディングⅢ		2前			1			○							兼2	
学術日本語ライティングⅠ		1前			1			○							兼2	
学術日本語ライティングⅡ		1後			1			○							兼3	
学術日本語ライティングⅢ		1後			1			○							兼2	
学術日本語ライティングⅣ		2前			1			○							兼3	
学術日本語ライティングⅤ		2後			1			○							兼3	
学術日本語リスニングⅠ		1前			1			○							兼2	
学術日本語リスニングⅡ		1後			1			○							兼2	
学術日本語コミュニケーションⅠ		1前			1			○							兼2	
学術日本語コミュニケーションⅡ		2前			1			○							兼2	
学術日本語コミュニケーションⅢ		2後			1			○							兼2	
学術日本語日本事情Ⅰ		1前			1			○							兼2	
学術日本語日本事情Ⅱ		1後			1			○							兼2	
小計( 15 科目)		0	0	15		—			0	0	0	0	0	兼3		
アドバンスド・イングリッシュ	英語上級Ⅰ	2・3・4後			1			○							兼2	
	英語上級Ⅱ	2・3・4後			1			○							兼2	
	英語上級Ⅲ	2・3・4後			1			○							兼2	
	小計( 3 科目)		0	3	0		—			0	0	0	0	0	兼4	
学部共通科目	外国語科目	中国語Ⅰ	1前		1			○							兼5	
		中国語Ⅱ	1前		1			○							兼3	
		中国語Ⅲ	1後		1				○						兼4	
		中国語Ⅳ	1後		1				○						兼3	
		中国語Ⅴ	2前		1				○						兼3	
		中国語Ⅵ	2後		1				○						兼3	
		韓国語Ⅰ	1前		1				○						兼1	
		韓国語Ⅱ	1前		1				○						兼2	
		韓国語Ⅲ	1後		1				○						兼1	
		韓国語Ⅳ	1後		1				○						兼2	
		韓国語Ⅴ	2前		1				○						兼2	
		韓国語Ⅵ	2後		1				○						兼2	
		ドイツ語Ⅰ	1前		1				○						兼1	
		ドイツ語Ⅱ	1前		1				○						兼1	
		ドイツ語Ⅲ	1後		1				○						兼1	
		ドイツ語Ⅳ	1後		1				○						兼1	
		ドイツ語Ⅴ	2前		1				○						兼1	
		ドイツ語Ⅵ	2後		1				○						兼1	
		フランス語Ⅰ	1前		1				○							兼4
		フランス語Ⅱ	1前		1				○							兼3
		フランス語Ⅲ	1後		1				○							兼3
		フランス語Ⅳ	1後		1				○							兼3
		フランス語Ⅴ	2前		1				○							兼4
		フランス語Ⅵ	2後		1				○							兼3
		英語Ⅰ	1前		1				○							兼1
		英語Ⅱ	1前		1				○							兼1
		英語Ⅲ	1後		1				○							兼1
		英語Ⅳ	1後		1				○							兼1
小計( 28 科目)		0	28	0		—			0	0	0	0	0	兼16		



別記様式第2号(その2の1)

教育課程等の概要																
(国際文学部 環境科学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
学部共通科目	情報活用科目	情報インテリジェンス	1前・後	2				○							兼4	※講義
		情報リテラシー	1前	2				○							兼3	※講義
		小計( 2 科目)		2	2	0		—		0	0	1	0	0	兼5	
	日本文化理解科目	日本の伝統文化	1前		2			○							兼1	
		現代日本文化	1前		2			○							兼1	
		福岡の文化と社会	1後		2			○							兼1	
		日本の地域社会とジェンダー	1後		2			○							兼1	
		小計( 4 科目)		0	8	0		—		0	0	0	0	0	兼4	
	語学研修科目	海外語学研修Ⅰ	1・2・3通		1				○						兼1	
		海外語学研修Ⅱ	2・3・4通		1				○						兼1	
		小計( 2 科目)		0	2	0		—		0	0	0	0	0	兼1	
	体験学習科目	フィールドスタディ	1通		2					○		1			兼3	
		国際インターンシップ	1・2・3・4通		2					○		1			兼3	
		フィールドワーク	1・2・3・4通		2					○		1			兼3	
		サービスマーケティング	1・2・3・4通		2					○		1			兼3	
		小計( 4 科目)		0	8	0		—		1	0	0	0	0	兼2	
	共通基盤科目	総合科目	グローバル化と多様性社会	1・2前		2			○						兼2	オムニバス
			地球環境と人類の未来	1・2前		2			○			2	1		兼2	オムニバス
			現代社会における生命と健康	1・2後		2			○			2	1		兼2	オムニバス
			小計( 3 科目)		0	6	0		—		4	2	1	0	0	兼6
人文科学		国際文化論	1・2・3・4前		2			○							兼1	
		ジェンダー	1・2・3・4前		2			○							兼1	
		日本の言語と世界	1・2・3・4前		2			○							兼1	
		欧米言語文化概論	1・2・3・4前		2			○							兼1	
		言語とコミュニケーション	1・2・3・4前		2			○							兼1	
		歴史と文化	1・2・3・4後		2			○							兼1	
	人間の思索	1・2・3・4前		2			○							兼1		
	宗教学	1・2・3・4後		2			○							兼1		
小計( 8 科目)		0	16	0		—		0	0	0	0	0	兼7			
共通基盤科目	社会科学	ジェンダーと法	1・2・3・4後		2			○						兼1		
		現代社会と法	1・2・3・4後		2			○						兼1		
		日本国憲法	2・3・4前		2			○						兼1		
		現代日本社会論	1・2・3・4前		2			○						兼1		
		今日の東アジア社会	1・2・3・4前		2			○						兼2		
		国際関係の成り立ち	1・2・3・4後		2			○						兼1		
		国際経済のしくみ	1・2・3・4前		2			○						兼1		
		組織運営のしくみ	1・2・3・4後		2			○						兼1		
		情報と社会	1・2・3・4後		2			○						兼1		
	小計( 9 科目)		0	18	0		—		0	0	0	0	0	兼8		
	自然科学	持続可能社会の設計	1・2・3・4前		2			○				2		1		オムニバス
		人をめぐる生命科学	1・2・3・4前		2			○					1		兼1	
		国際社会における食の安全・安心	1・2・3・4前		2			○							兼1	
		物質と環境	1・2・3・4後		2			○				1			兼1	
物理学と現代社会		1・2・3・4後		2			○					1		兼1		
数理学と現代社会	1・2・3・4後		2			○						1	兼1			
科学論	1・2・3・4後		2			○							兼1			
小計( 7 科目)		0	14	0		—		3	2	2	0	0	兼2			
芸術・感性	美術表現	1・2・3・4前		2										兼1	※講義	
	造形表現	1・2・3・4後		2										兼1	※講義	
	音楽表現Ⅰ	1・2・3・4前		2										兼2	※講義	
	音楽表現Ⅱ	1・2・3・4後		2										兼2	※講義	
小計( 4 科目)		0	8	0		—		0	0	0	0	0	兼3			
健康スポーツ実習	健康スポーツ実習Ⅰ	1前		1										兼1		
	健康スポーツ実習Ⅱ	1後		1										兼1		
	小計( 2 科目)		0	2	0		—		0	0	0	0	0	兼1		

別記様式第2号(その2の1)

教育課程等の概要																
(国際文学部 環境科学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
学部共通専門科目	異文化理解	2・3・4前		2		○									兼1	
	国際社会とジェンダー	3後		2		○									兼1	
	国際経済学	2後		2		○									兼1	
	生活と環境	2後		2		○			1	1					オムニバス	
	食料経済学	2後		2		○									兼1	
	食健康論	3前		2		○									兼3	
	社会調査法	2・3前		2		○									兼1	
	フィールド実践・研究推進論 I	1・2・3・4前・後		2		○			1						兼2	
	フィールド実践・研究推進論 II	1・2・3・4前・後		2		○			1						兼2	
	女性リーダー育成実習	3前		2				○							兼2	
	女性リーダー育成論	3後		2		○									兼2	
人権概論	1・2・3後		2		○									兼1		
社会と企業	1・2・3前		2		○									兼1		
小計( 13 科目)			0	26	0	-			2	1	0	0	0	兼12		
学科基本科目	基礎数学	1前	2			○									兼1	
	基礎物理学	1前		2		○				1						
	基礎化学	1前		2		○			1							
	基礎生命科学	1前		2		○			1	1						
	生態系の生物学	2前		2		○			1							
	基礎統計学	1後		2		○					1					
	応用統計学	2前		2		○									兼1	
	環境科学概論	1後		2		○			10	6	4				オムニバス	
	コンピュータサイエンス	1・2・3・4前		2		○					1				※演習	
	プログラミング	2後		2		○					1				※演習	
	環境法総論	1後		2		○									兼1	
	経済学入門	1・2前		2		○									兼1	
	環境とジェンダー	2前		2		○									兼1	
小計( 13 科目)			4	22	0	-			10	6	4	0	0	兼4		
学科科目	環境物質科目	基礎物理化学	2前	2		○			1							
		応用物理化学	2後	2		○			1							
		有機化学	2前	2		○			1							
		基礎分析化学	1後	2		○			1							
		無機化学	2前	2		○			1							
		高分子化学	2後	2		○			1							
		環境物理学	3前	2		○				1						
		環境材料学	3前	2		○			1		1					
		環境有機化学	2後	2		○			1							
		環境分析化学	2後	2		○			1							
		大気環境科学	3前	2		○			1							
		土壌環境科学	3後	2		○										
		水質環境科学	3前	2		○										
		地球環境科学	3後	2		○										
		環境機器分析学	2後	2		○			1							
		東アジアの環境	2後	2		○			1							
		基礎物理学実験	2前	1						1	1					
		基礎化学実験	2前	1								1				
		有機化学実験	2後	1						1			1			
		高分子化学実験	3前	1						1			1			
		環境物質基礎実験	2後	1						1				1		
		環境分析化学実験	3前	1						1	1			1		
		機器分析学実験	3後	1						1			1			
		地球環境科学実験	3後	1											兼1	
		基礎物理化学演習	2後	1					○	1						
		応用物理化学演習	3前	1					○	1						
		環境科学演習	3後	1					○	1						
		環境物質論および実習 I	3前	2			○			5	1					※実習、オムニバス
		環境物質論および実習 II	3後	2			○			5	1					※実習
小計( 29 科目)			0	47	0	-			5	1	1	1	3	兼3		

別記様式第2号(その2の1)

教育課程等の概要															
(国際文学部 環境科学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科科目	環境生命科目	遺伝子の生物学		2		○									兼1
		生命の分子的基盤	2前	2		○			1						兼1
		生体の機能学	2前	2		○									
		分子生物学	2後	2		○				1					
		遺伝学	2後	2		○				1					
		分子進化学	3後	2		○				1					
		細胞の生物学	1後	2		○				1					
		発生生物学	3前	2		○				1					
		系統進化学	3前	2		○				1					兼1
		動物生理学	2後	2		○				1					
		生物統計学	2後	2		○									兼1
		環境生理学	3前	2		○				1					
		生態学Ⅰ	2後	2		○				1					
		生態学Ⅱ	3前	2		○									兼1
		保全生物学	3前	2		○					1				
		環境評価学	2後	2		○									兼1
		生命科学演習Ⅰ	2後	1				○		1					
		生命科学演習Ⅱ	2後	1				○			1				
		生命科学演習Ⅲ	3前	1				○			1				
		生命科学演習Ⅳ	3前	1				○		1					
	生命科学演習Ⅴ	3前	1				○			1					
	生命科学基礎実験	2前	1					○		1			1		
	発生生物学実験	3前	1					○		1			1		
	動物生理学実験	2前	1					○		1			1		
	生態学実験	2前	1					○		1			1		
	環境生理学実験	2後	1					○		1			1		
	環境生命論および実習Ⅰ	3前	2			○			2	3				※実習、オムニバス	
	環境生命論および実習Ⅱ	3後	2			○			2	3				※実習	
	小計( 28 科目)			0	46	0		—		2	3	0	0	3	兼6
	環境生活科目	エコライフスタイル学	2前		2		○								
		生活材料管理	2後		2		○								兼2
		都市空間デザイン	3前		2		○			1					
		循環型社会論	2前		2		○								兼1
		内空間環境工学	2後		2		○			1					
		環境生活学	2前		2		○					1			
		環境人間工学	3前		2		○								兼1
		生活環境生理学	2後		2		○			1					
		環境衛生学	3前		2		○			1					
		生活環境デザイン	2前		2		○			1					
		環境リスク	3後		2		○				1				
都市環境生活論		3後		2		○			1						
環境生活基礎実験		3前		1				○	1				1		
エコ・ライフ実験		2後		1				○	1	1			1		
環境影響検査実験		3後		1				○	1				1		
環境生活演習Ⅰ		3前		1			○		1						
環境生活演習Ⅱ		3前		1			○		1						
環境生活演習Ⅲ		3前		1			○		1						
環境生活演習Ⅳ		3後		1			○			1					
環境生活演習Ⅴ		3後		1			○				1				
環境生活演習Ⅵ		3後		1			○		1						
環境デザイン実習		2後		1				○	1						
環境生活論および実習Ⅰ		3前		2		○			3	1	1			※実習、オムニバス	
環境生活論および実習Ⅱ		3後		2		○			3	1	1			※実習	
小計( 24 科目)			0	38	0		—		3	1	1	0	1	兼4	

別記様式第2号(その2の1)

教育課程等の概要																
(国際文学部 環境科学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
学 科 科 目	国際環境政策科目	環境法Ⅰ		2		○									兼1	
		環境法Ⅱ		2		○									兼1	
		国際機構法		2		○									兼1	
		地域環境政策論		2		○				1						
		国際環境政策論		2		○				1						
		国際協力・NPO/NGO論		2		○										兼1
		エコロジー経済学Ⅰ		2		○						1				
		環境統計学		2		○						1				※演習
		環境(負荷)評価		2		○										兼1
		ミクロ経済学Ⅰ		2		○										兼1
		環境経済学		2		○						1				
		国際環境経済論		2		○						1				
		環境ビジネス		2		○						1				
		環境会計論		2		○										兼1
		企業経営と環境		2		○										兼1
		エコロジー経済学Ⅱ		2		○						1				
		環境数学		2		○						1				
		国際紛争と数理学		2		○						1				
		環境マネジメント演習Ⅰ		1				○				1				
		環境マネジメント演習Ⅱ		1				○	○			1				
		環境マネジメント演習Ⅲ		1				○	○			1				
		環境マネジメント演習Ⅳ		1				○	○			1				
		環境マネジメント特別講義		2				○			1					
	環境政策フィールド実習		1					○				1				
	地理情報科学		2				○				1					
	国際環境政策論および実習Ⅰ		2				○				1	3			※実習、オムニバス	
	国際環境政策論および実習Ⅱ		2				○				1	3			※実習	
小計( 27 科目)			0	49	0		—		1	1	3	0	0	兼6		
関 連 科 目	東アジアの歴史			2		○									兼1	
	国際開発論			2		○									兼1	
	アジアの現代文化			2		○									兼1	
	東アジアの法と社会			2		○									兼1	
小計( 4 科目)			0	8	0		—		0	0	0	0	0	兼4		
卒 業 研 究	卒業研究演習	4通	4					○		10	6	4				
	卒業論文	4通	4					○		10	6	4				
	小計( 2 科目)		8	0	0		—		10	6	4	0	0	0		
教 職 科 目	教職基礎論			2		○									兼1	
	教育原理			2		○									兼1	
	教育心理学			2		○									兼1	
	教育行政学			2		○									兼1	
	教育課程論			2		○									兼1	
	理科教育法Ⅰ			2		○									兼1	
	理科教育法Ⅱ			2		○									兼1	
	理科教育法Ⅲ			2		○									兼1	
	理科教育法Ⅳ			2		○									兼1	
	道徳教育の指導			2		○									兼1	
	特別活動の指導			2		○									兼1	
	教育方法学			2		○									兼1	
	生徒指導論			2		○									兼1	
	教育相談論			2		○									兼1	
	教職実践演習(中・高)			2				○							兼2	
	事前・事後指導			1			○								兼3	
	中学校教育実習			2					○						兼2	
	高等学校教育実習			2					○						兼3	
	学校経営と学校図書館			2			○								兼1 隔年開講	
	学校図書館メディアの構成			2			○								兼1 隔年開講	
学習指導と学校図書館			2			○								兼1 隔年開講		
読書と豊かな人間性			2			○								兼1 隔年開講		
情報メディアの活用			2			○								兼1		
小計( 23 科目)			0	0	45		—		0	0	0	0	0	兼9		
合計( 271 科目)		—	37	336	60		—		10	6	4	2	3	兼123		

別記様式第2号(その2の1)

教 育 課 程 等 の 概 要													
(国際文理学部 環境科学科)													
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置				備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	
学位又は称号		学士(環境科学)		学位又は学科の分野			理学関係						
卒業要件及び履修方法						授業期間等							
(卒業要件)以下の単位を含んで、124単位以上修得すること。 ◇学部共通科目:41単位以上 ○ファーストイヤー・ゼミ:2単位必修 ○学術言語プログラム:15単位必修(日本語を母国語としない学生は、学術英語プログラムに代えて、学術日本語プログラムを履修することができる) ○外国語科目:日本語を母国語とする学生は、英語Ⅰ～Ⅳを履修しても卒業要件単位に含めない。外国人留学生が外国語科目を選択する場合は、母国語以外の言語を履修すること。 ○情報活用科目:2単位必修 ○日本文化理解科目:2単位以上選択(国際教養学科開講科目の「日本史概論」、「儒教思想史」、「書道Ⅰ(書道芸術)」、「美学美術史」からも選択することができる) ○共通基盤科目:20単位以上選択(総合科目:2単位以上選択、人文科学:4単位以上選択、社会科学:4単位以上選択、自然科学:2単位以上選択) ◇学部共通専門科目:4単位以上 ◇学科科目:62単位以上 ○学科基本科目:12単位必修 必修単位4単位及び「基礎物理学」「基礎化学」「基礎生命科学」「基礎統計学」「環境法総論」から8単位以上履修するものとする。 ○専門科目:42単位以上選択 うち28単位以上は、「環境物質科目」、「環境生命科目」、「環境生活科目」、「国際環境政策科目」のいずれか同一の科目区分からその指定された必修科目(注)を含んで履修するものとする。さらに、当該科目区分以外の3科目区分からそれぞれ4単位以上履修するものとする。 「関連科目」から2単位以上選択  (注)科目区分から指定された必修科目 ・「環境物質科目」:「基礎化学実験」、「機器分析学実験」、「環境科学演習」、「環境物質論および実習Ⅰ・Ⅱ」および専門科目(「基礎物理化学」、「有機化学」、「無機化学」、「高分子化学」、「環境物理学」、「環境分析化学」)から6単位、かつ実験科目(「基礎物理学実験」、「有機化学実験」、「高分子化学実験」、「環境物質基礎実験」、「環境分析化学実験」)から3単位 ・「環境生命科目」:「生命の分子の基盤」、「分子生物学」、「細胞の生物学」、「生命科学基礎実験」、「発生生物学実験」、「動物生理学実験」、「生態学実験」、「環境生理学実験」、「環境生命論及び実習Ⅰ」、「環境生命論及び実習Ⅱ」、かつ「生命科学演習Ⅰ～Ⅴ」から2単位以上 ・「環境生活科目」:「エコライフスタイル学」、「内空間環境工学」、「環境生活学」、「生活環境生理学」、「環境衛生学」、「生活環境デザイン」、「環境生活論及び実習Ⅰ」、「環境生活論及び実習Ⅱ」 ・「国際環境政策科目」:「環境法Ⅰ」、「地域環境政策論」、「国際環境政策論」、「環境統計学」、「環境経済学」、「環境数理学」、「国際環境政策論及び実習Ⅰ」、「国際環境政策論及び実習Ⅱ」  ○卒業研究:8単位必修 ただし、卒業研究は専門科目の「環境物質科目」、「環境生命科目」、「環境生活科目」、「国際環境政策科目」のうち、履修要件を満たした科目区分において行う。 ◇学部共通科目及び学部共通専門科目並びに他学科を含む学科科目(食・健康学科が指定する科目を除く)から選択履修:17単位以上  ※履修科目の登録の上限(年間):45単位(「教職科目」等を除く。なお、教授会が認めた場合には上限を超えて履修することができる。)						1学年の学期区分				2 学期			
						1学期の授業期間				15 週			
						1時限の授業時間				90 分			

別記様式第2号(その2の1)

教育課程等の概要																
(国際文学部 食・健康学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
ファーストイヤー・ゼミ	ファーストイヤー・ゼミⅠ	1前	1				○		8	3	1			兼55		
	ファーストイヤー・ゼミⅡ	1後	1				○		8	3	1			兼55		
	小計( 2 科目)		2	0	0		—		8	3	1	0	0	兼55		
学部共通科目	学術英語プログラム (AEP)	学術英語コミュニケーションⅠ	1前	1				○							兼10	
		学術英語コミュニケーションⅡ	1後	1				○							兼11	
		学術英語コミュニケーションⅢ	2前	1				○							兼12	
		学術英語コミュニケーションⅣ	2後	1				○							兼14	
		学術英語リスニングⅠ	1前	1				○							兼10	
		学術英語リスニングⅡ	1後	1				○							兼9	
		学術英語リーディングⅠ	1前	1				○							兼13	
		学術英語リーディングⅡ	1前	1				○							兼13	
		学術英語リーディングⅢ	1後	1				○							兼13	
		学術英語リーディングⅣ	1後	1				○							兼14	
		学術英語リーディングⅤ	2前	1				○							兼15	
		学術英語ライティングⅠ	1前	1				○							兼12	
		学術英語ライティングⅡ	1後	1				○							兼12	
		学術英語ライティングⅢ	2前	1				○							兼10	
		学術英語ライティングⅣ	2後	1				○							兼15	
	小計( 15 科目)		15	0	0		—		0	0	0	0	0	兼33		
学部共通科目	学術日本語プログラム (AJP)	学術日本語リーディングⅠ	1前			1		○							兼2	
		学術日本語リーディングⅡ	1後			1		○							兼2	
		学術日本語リーディングⅢ	2前			1		○							兼2	
		学術日本語ライティングⅠ	1前			1		○							兼2	
		学術日本語ライティングⅡ	1後			1		○							兼3	
		学術日本語ライティングⅢ	1後			1		○							兼2	
		学術日本語ライティングⅣ	2前			1		○							兼3	
		学術日本語ライティングⅤ	2後			1		○							兼3	
		学術日本語リスニングⅠ	1前			1		○							兼2	
		学術日本語リスニングⅡ	1後			1		○							兼2	
		学術日本語コミュニケーションⅠ	1前			1		○							兼2	
		学術日本語コミュニケーションⅡ	2前			1		○							兼2	
		学術日本語コミュニケーションⅢ	2後			1		○							兼2	
		学術日本語日本事情Ⅰ	1前			1		○							兼2	
		学術日本語日本事情Ⅱ	1後			1		○							兼2	
	小計( 15 科目)		0	0	15		—		0	0	0	0	0	兼3		
学部共通科目	アドバンスト・イングリッシュ	英語上級Ⅰ	2・3・4後			1		○							兼2	
		英語上級Ⅱ	2・3・4後			1		○							兼2	
		英語上級Ⅲ	2・3・4後			1		○							兼2	
	小計( 3 科目)		0	3	0		—		0	0	0	0	0	兼4		
学部共通科目	外国語科目	中国語Ⅰ	1前			1		○							兼5	
		中国語Ⅱ	1前			1		○							兼3	
		中国語Ⅲ	1後			1		○							兼4	
		中国語Ⅳ	1後			1		○							兼3	
		中国語Ⅴ	2前			1		○							兼3	
		中国語Ⅵ	2後			1		○							兼3	
		韓国語Ⅰ	1前			1		○							兼1	
		韓国語Ⅱ	1前			1		○							兼2	
		韓国語Ⅲ	1後			1		○							兼1	
		韓国語Ⅳ	1後			1		○							兼2	
		韓国語Ⅴ	2前			1		○							兼2	
		韓国語Ⅵ	2後			1		○							兼2	
		ドイツ語Ⅰ	1前			1		○							兼1	
		ドイツ語Ⅱ	1前			1		○							兼1	
		ドイツ語Ⅲ	1後			1		○							兼1	
		ドイツ語Ⅳ	1後			1		○							兼1	
		ドイツ語Ⅴ	2前			1		○							兼1	
		ドイツ語Ⅵ	2後			1		○							兼1	
		フランス語Ⅰ	1前			1		○								兼4
		フランス語Ⅱ	1前			1		○								兼3
		フランス語Ⅲ	1後			1		○								兼3
		フランス語Ⅳ	1後			1		○								兼3
		フランス語Ⅴ	2前			1		○								兼4
		フランス語Ⅵ	2後			1		○								兼3
		英語Ⅰ	1前			1		○								兼1
		英語Ⅱ	1前			1		○								兼1
		英語Ⅲ	1後			1		○								兼1
		英語Ⅳ	1後			1		○								兼1
	小計( 28 科目)		0	28	0		—		0	0	0	0	0	兼16		

別記様式第2号(その2の1)

教育課程等の概要															
(国際文学部 食・健康学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部 共通科目	情報活用科目	情報インテリジェンス	1前・後	2				○							兼5 ※講義
		情報リテラシー	1前	2				○							兼4 ※講義
	小計( 2 科目)			2	2	0	-			0	0	0	0	0	兼5
	日本文化 理解科目	日本の伝統文化	1前		2			○							兼1
		現代日本文化	1前		2			○							兼1
		福岡の文化と社会	1後		2			○							兼1
		日本の地域社会とジェンダー	1後		2			○							兼1
	小計( 4 科目)			0	8	0	-			0	0	0	0	0	兼4
	語学研修科目	海外語学研修Ⅰ	1・2・3通		1				○						兼1
		海外語学研修Ⅱ	2・3・4通		1				○						兼1
	小計( 2 科目)			0	2	0	-			0	0	0	0	0	兼1
	体験学習科目	フィールドスタディ	1通		2				○		1				兼3
		国際インターンシップ	1・2・3・4通		2				○		1				兼3
フィールドワーク		1・2・3・4通		2				○		1				兼3	
サービスラーニング		1・2・3・4通		2				○		1				兼3	
小計( 4 科目)			0	8	0	-			1	0	0	0	0	兼3	
総合科目	グローバリズムと多様性社会	1・2前		2			○							兼3	
	地球環境と人類の未来	1・2前		2			○							券5 オムニバス	
	現代社会における生命と健康	1・2後		2			○							券5 オムニバス	
小計( 3 科目)			0	6	0	-			0	0	0	0	0	兼13	
人文科学	国際文化論	1・2・3・4前		2			○							兼1	
	ジェンダー	1・2・3・4前		2			○							兼1	
	日本の言語と世界	1・2・3・4前		2			○							兼1	
	欧米言語文化概論	1・2・3・4前		2			○							兼1	
	言語とコミュニケーション	1・2・3・4後		2			○							兼1	
	歴史と文化	1・2・3・4後		2			○							兼1	
	人間の思索	1・2・3・4前		2			○							兼1	
	宗教学	1・2・3・4後		2			○							兼1	
	小計( 8 科目)			0	16	0	-			0	0	0	0	0	兼7
社会科学	ジェンダーと法	1・2・3・4後		2			○							兼1	
	現代社会と法	1・2・3・4後		2			○							兼1	
	日本国憲法	2・3・4前		2			○							兼1	
	現代日本社会論	1・2・3・4前		2			○							兼1	
	今日の東アジア社会	1・2・3・4前		2			○							兼1	
	国際関係の成り立ち	1・2・3・4後		2			○							兼1	
	国際経済のしくみ	1・2・3・4前		2			○							兼1	
	組織運営のしくみ	1・2・3・4後		2			○							兼1	
	情報と社会	1・2・3・4後		2			○							兼1	
小計( 9 科目)			0	18	0	-			0	0	0	0	0	兼8	
自然科学	持続可能社会の設計	1・2・3・4前		2			○							兼3	
	人をめぐる生命科学	1・2・3・4前		2			○							兼1	
	国際社会における食の安全・安心	1・2・3・4前		2			○			1				兼1	
	物質と環境	1・2・3・4後		2			○							兼1	
	物理学と現代社会	1・2・3・4後		2			○							兼1	
	教理学と現代社会	1・2・3・4後		2			○							兼1	
科学論	1・2・3・4後		2			○							兼1		
小計( 7 科目)			0	14	0	-			0	0	1	0	0	兼8	
芸術・ 感性	美術表現	1・2・3・4前		2				○						兼1	
	造形表現	1・2・3・4後		2				○						兼1	
	音楽表現Ⅰ	1・2・3・4前		2				○						兼2	
	音楽表現Ⅱ	1・2・3・4後		2				○						兼2	
小計( 4 科目)			0	8	0	-			0	0	0	0	0	兼3	
健康スポーツ 実習	健康スポーツ実習Ⅰ	1前		1				○		1					
	健康スポーツ実習Ⅱ	1後		1				○		1					
小計( 2 科目)			0	2	0	-			1	0	0	0	0	0	
学部 共通 専門科目	異文化理解	2・3・4前		2			○							兼1	
	国際社会とジェンダー	3後		2			○							兼1	
	国際経済学	2後		2			○							兼1	
	生活と環境	2後		2			○							兼2 オムニバス	
	食料経済学	2後		2			○			1					
	食健康論	2後		2			○							兼3	
	社会調査法	2・3前		2			○							兼1	
	フィールド実践・研究推進論Ⅰ	1・2・3・4前・後		2			○			1				兼3	
	フィールド実践・研究推進論Ⅱ	1・2・3・4前・後		2			○			1				兼3	
	女性リーダー育成実習	3前		2										兼2	
	女性リーダー育成論	3後		2				○						兼2	
	人権概論	1・2・3後		2				○						兼1	
	社会と企業	1・2・3前		2				○						兼1	
小計( 13 科目)			0	26	0	-			1	0	0	0	0	兼14	

教育課程等の概要															
(国際文学部 食・健康学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科基本科目	調理学	1前		2		○				1					
	調理学基礎実習	1後		1				○		1				1	
	生化学Ⅰ	1前		2		○			1						
	生化学Ⅱ	1後		2		○			1						
	基礎実験	1前		1				○		1					
	基礎化学	1前		2		○									
	基礎生命科学	1前		2		○									
	基礎数学	1前		2		○									
	基礎統計学	1後		2		○									
	応用統計学	2前		2		○									
国際食文化論Ⅱ	3前		2		○				1						
小計( 11 科目)			0	20	0	—			1	3	0	0	1	兼5	
グローバル社会の食と健康	保健医療福祉論	1後		2		○			1					兼1	
	実践栄養活動論	1前		2		○			1						
	国際食文化論Ⅰ	1前		2		○				1					
	栄養マネジメント論	2後		2		○			1						
	公衆栄養学	3前		2		○			1						
	公衆栄養学実習	3前		1				○	1				1		
	公衆栄養学臨地実習	3後		1				○	1				1		
	国際保健栄養学	2前		2		○				1					
	実践疫学	2前		2		○			1						
	地域ブランド論	3前		2		○			1						
	食物危機管理論	3後		2		○			1						
	公衆衛生学	2後		2		○			1						
	公衆衛生学実習	3前		1				○	1				1		
小計( 13 科目)			0	23	0	—			3	1	0	0	1	兼1	
人間の体と心の健康	生化学実験	1後		1				○	1					1	
	基礎栄養学実験	2前		1				○	1					1	
	人間構造機能学Ⅰ	1後		2		○			1						
	人間構造機能学Ⅱ	2前		2		○			1						
	人間構造機能学実験Ⅰ	2前		1				○	1				1		
	人間構造機能学実験Ⅱ	2後		1				○	1				1		
	臨床医学論	2後		2		○								兼1	
	栄養生理学	2後		2		○				1					
	栄養生理学実習	2後		1				○		1				1	
	分子生物学	2後		2		○								兼1	
小計( 10 科目)			0	15	0	—			2	1	0	0	2	兼2	
保健・医療・福祉・介護における食と健康	基礎栄養学	1後		2		○			1						
	生物物理・統計論	3前		2		○				1					
	食行動科学理論	2前		2		○			1						
	食事摂取基準論	2前		2		○			1						
	栄養教育論	2後		2		○			1						
	栄養教育論実習	2後		1				○	1				1		
	ライフステージ栄養学	2後		2		○								兼1	
	ライフステージ栄養学実習	2後		1				○	1				1		
	栄養カウンセリング論	2後		2		○								兼1	
	スポーツ栄養学	2後		2		○								兼1	
	臨床栄養管理学	2後		2		○				1					
	臨床栄養管理学実習	3後		1				○		1			1		
	栄養薬理学	3前		2		○								兼1	
	臨地実習事前・事後指導	3通		1				○	2	2					
	食事療法学	3前		2		○				1					
	食事療法学実習	3後		1				○		1			1		
	病態栄養学	3前		2		○								兼1	
	栄養治療学	3後		2		○								兼1	
	臨床栄養アセスメント	3前		2		○				1					
臨床栄養臨地実習	3後		2				○		2			1			
小計( 20 科目)			0	35	0	—			3	3	0	0	2	兼4	



別記様式第2号(その2の1)

教育課程等の概要															
(国際文学部 食・健康学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科科目	専門科目	食の安全・安心と機能	微生物学	1後	2		○					1			
			微生物学実験	2前	1				○			1		1	
			食品安全学	2前	2		○					1			
			食品安全学実験	2後	1				○			1		1	
			バイオテクノロジー論	3後	2		○					1			
			食品機能学	1後	2		○				1				
			食品機能学実験	2前	1				○			1		1	
			食品加工・貯蔵学	2後	2		○					1			
			食品分析化学	3前	2		○					1			
			食品分析化学実験	3後	1				○			1		1	
			給食経営管理論Ⅰ	2前	2		○					1			
			給食経営管理論Ⅱ	2後	2		○					1			
			給食経営管理実習Ⅰ	3前	1				○			1		1	
			給食経営管理実習Ⅱ	3前	1				○			1		1	
			給食の運営(校外実習)	3前	1				○		1			1	
	調理学応用実習	2前	1				○			1		1			
	調理科学	2後	2			○				1					
	調理科学実験	3前	1				○			1		1			
	フードビジネス論	3後	2			○				1					
	小計( 19 科目)				0	29	0	-			1	4	1	0	5
演習科目	食・健康科学基礎演習	3後	1				○			6	6	1			
	食・健康科学総合演習	3後	1				○			6	6	1			
	小計( 2 科目)				2	0	0	-			6	6	1	0	0
卒業研究	卒業研究演習	4通	4				○			5	6	1			
	卒業論文	4通	4					○		5	6	1			
	小計( 2 科目)				8	0	0	-			5	6	1	0	0
教職科目	教職基礎論	1後			2	○									兼1
	教育原理	3前			2	○									兼1
	教育心理学	2前			2	○									兼1
	教育行政学	2後			2	○									兼1
	教育課程論	2前			2	○									兼1
	学校栄養教育法Ⅰ	2前			2	○									兼1
	学校栄養教育法Ⅱ	2後			2	○			2	1					兼1
	道德教育の指導	3後			2	○									兼1
	特別活動の指導	3後			2	○									兼1
	教育方法学	2後			2	○									兼1
	生徒指導論	3前			2	○									兼1
	教育相談論	3後			2	○									兼1
	教職実践演習(栄養教諭)	4後			2			○		1					兼1
	栄養教諭教育実習事前・事後指導	3前			1				○	1					兼1
	栄養教諭教育実習	3後			1				○	1					兼1
小計( 15 科目)				0	0	28	-			2	1	0	0	0	兼5
合計( 213 科目)				29	263	43	-			6	6	1	0	5	兼122
学位又は称号		学士(食健康学)			学位又は学科の分野			家政学関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
(卒業要件)以下の単位を含んで、124単位以上修得すること。 ◇学部共通科目:41単位以上 ○ファーストイヤー・ゼミ:2単位必修 ○学術言語プログラム:15単位必修(日本語を母国語としない学生は、学術英語プログラムに代えて学術日本語プログラムを履修することができる) ○外国語科目:日本語を母国語とする学生は、英語Ⅰ～Ⅳを履修しても卒業要件単位に含めない。外国人留学生が外国語科目を選択する場合は、母国語以外の言語を履修すること。 ○情報活用科目:2単位必修 ○日本文化理解科目:2単位以上選択(国際教養学科開講科目の「日本史概論」、「儒教思想史」、「書道Ⅰ(書道芸術)」、「美学美術史」からも選択することができる) ○共通基盤科目:20単位以上選択(総合科目:2単位以上選択、人文科学:4単位以上選択、社会科学:4単位以上選択、自然科学:2単位以上選択) ◇学部共通専門科目:4単位以上 ◇学科科目:52単位以上 ○学科基本科目:4単位以上選択 ○専門科目:2単位必修、38単位以上選択 ○卒業研究:8単位必修 ◇学部共通科目及び学部共通専門科目並びに他学科を含む学科科目から選択履修:27単位以上  ※履修科目の登録の上限(年間):45単位(「教職科目」等を除く。なお、教授会が認めた場合には上限を超えて履修することができる。)							1学年の学期区分			2 学期					
							1学期の授業期間			15 週					
							1時限の授業時間			90 分					

授 業 科 目 の 概 要			
(人間環境科学研究科人間環境科学専攻(D))			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基礎科目	キャリア・デザインとライフ・プラン	女性学やジェンダー的視点から、企業や大学等における女性労働の現状やキャリア構築のための課題ならびに男女平等やワーク・ライフ・バランスを保障する国内外の法制度等を取りあげ、男女共同参画社会における「女性のライフキャリア」の探求や設計に関する具体的課題や可能性について多面的に学ぶ。	
	デザイン思考	人間を取り巻く複合的課題に対し、総合的学識や技術により解決に導く実践力を身に着けるために、デザイン志向のプロセスである着想(inspiration)、アイデア化(ideation)、実現(implementation)を、リサーチやグループワークを通じて実践的に学ぶ。そして、イノベーションを実現する人材(イノベーター、innovator)の育成を目指す。	
	リーダーシップ特別演習	新しい何かを創造するためには、組織において互いの違いを生かしながら、新たなアイデアや価値観を生み出すことが重要である。安心して発信できる環境や場を作ること、それぞれが持つアイデアや思いを引き出すこと、人を巻き込み、その気にさせ、同じ思いを共有すること、そのようなリーダーシップが求められている。多様な意見の交換のなかから新たな発見や可能性、アイデアを見いだし、個々の知恵を創造的な成果に結びつけることを支援するファシリテーションの技術を、演習を通じて学び、身につける。	
	研究の倫理と方法	研究活動とその成果である論文の適切な有り方が、国際的にも厳しく問われている。博士後期課程において研究に取り組むにあたって、遵守すべき研究の倫理とはなにか、また研究論文が満たすべき内容とそのための論文の作成の有り方について検討する。	
専門科目	人間環境科学特殊演習	<p>自立した幅広い視野を備えた研究者を養成するには、学生自身が行っている研究以外に新しい分野の研究開発能力を身につけることが大切である。このための教育の一環として自己の研究と直接関係のない他分野からテーマを選択し、その総説の作成を行う。選択したテーマに関連する論文10報程度を読み、報告書およびその概要をまとめるとともに、複数の教員(特に指導教員グループ以外の教員)の前で発表し、テーマの選定、研究手法の理解、まとめ方について批評を受け、それに的確に回答できることが必要である。</p> <p>(4 庄山 茂子/2回) 住環境・生活環境改善につながる研究の紹介</p> <p>(7 馬 昌珍/2回) 自然・生活環境における汚染物質に関する研究の紹介</p> <p>(8 太田雅規/2回) 食品・栄養および健康に関する研究の紹介</p> <p>(4 庄山 茂子・7 馬 昌珍・8 太田雅規/9回)(共同) 授業の概要説明・学生による研究報告に対する指導ならびに討論・演習の総括</p>	オムニバス方式・共同(一部)

授 業 科 目 の 概 要			
(人間環境科学研究科人間環境科学専攻(D))			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	専門職特殊研修	<p>インターンシップとは、「学生が一定期間企業等の中で研修生として働き、自分の将来に関連のある就業体験を行える制度」である。この科目を修得する学生は、受け入れ先(企業、研究所など)での研修の中で、特定のプロジェクトに参加し、その中で実際に働くことを体験する。この体験のなかで、専門的知識を高めるとともに、プレゼンテーション能力、問題提起、問題解決能力、チームワーキングによる仕事の進め方を体得する。これらの体験を通し、自己の長所、短所を見つめ直し、自己鍛錬の機会とするとともに、将来の選択する職業に対する目的意識を育むことを目的とする。</p> <p>授業は実地研修に加えて、事前指導、事後指導を実施する。</p> <p>&lt;事前指導&gt; (2 中村 強・5 吉村 利夫・15 豊貞 佳奈子/1回)(共同) 1. オリエンテーション：科目履修方法のガイダンス。受入先での対応マナー、安全確保及び保険加入の指導</p> <p>(2 中村 強/1回) 2. 事前指導および研究：機密保持および知的財産に関する解説および学生による事前調査・研究と参加目的レポートの提出</p> <p>&lt;研修先での専門職研修&gt; (2 中村 強・5 吉村 利夫・15 豊貞 佳奈子/実働5日以上)(共同) インターンシップ：研修先プログラムもしくは参加目的に沿ったプログラムとし、主指導教員とともに万全のサポート体制にて実施する。</p> <p>&lt;事後指導&gt; (2 中村 強・5 吉村 利夫・15 豊貞 佳奈子/1回)(共同) 1. 研修報告および研修レポートの提出 2. 実施内容あるいは得られた情報に関する成果報告会の実施およびレポート作成の指導</p> <p>(2 中村 強・5 吉村 利夫・15 豊貞 佳奈子/3回)(共同) 就業体験に関する事前・事後指導など、研修における総合的な指導を行う。</p> <p>(2 中村 強/1回) 機密保持および知的財産権に関する指導を行う。</p>	オムニバス方式・共同(一部)
	人間環境科学特殊研修	<p>高度専門職業人や教育研究者に求められる資質を養うとともに責任感や倫理感、総合的に判断できる力、計画的に業務を遂行できるマネジメント能力を養うことを目的に、主指導教員の指導の下で、学部学生のカリキュラムにある実験・実習・演習の指導内容の企画・立案から積極的に参画し指導を行う。また、卒論研究についても適切な指導助言を行う。学部学生の実験・実習・演習においては2科目以上、卒論研究指導においては1年以上の指導を行う。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
（人間環境科学研究科人間環境科学専攻（D））			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特殊研究科目	環境科学特殊研究Ⅰ	<p>（概要） 環境科学特殊研究では、独創性の高い先進的な研究や調査活動を行い、最終的に環境科学特殊研究Ⅲにおいて博士論文を完成させることを目的とする。環境科学特殊研究Ⅰでは、その第一段階として、学生は指導教員の助言の下で、博士論文のテーマを選定して研究計画書を提出し、研究活動をスタートする。このテーマに関する関連分野の論文の講読と内容の発表を行う。また、研究の方向性を探索することを主目的に実験研究を行う。</p> <p>（1 森田 健） 生活環境の光・照明などの視環境要素が、ヒトの生体リズムに及ぼす影響に関する研究指導を行う。</p> <p>（3 池田 宜弘） 物理化学・熱力学・統計力学の学問領域の研究手法を用いて、界面現象および界面における両親媒性物質の挙動の解明に関する研究指導を行う。</p> <p>（4 庄山 茂子） ヒトの心理生理反応、生活行動を基にした環境デザインに関する研究指導を行う。</p> <p>（5 吉村 利夫） 生活材料科学の観点から、環境調和型高分子材料の創製に関する研究指導を行う。</p> <p>（7 馬 昌珍） 生活環境から地域・地球規模までの様々な大気環境問題に関する研究指導を行う。</p> <p>（11 弓削 昌弘） 脊椎動物の初期発生および器官の形成と再生に関する研究指導補助を行う。</p> <p>（12 猪股 伸幸） 野生生物の集団遺伝構造および生物進化機構に関する研究指導を行う。</p> <p>（14 松尾 亮太） 分子生物学・組織化学・生理学的研究手法を用いた脳神経系の機能に関する研究指導を行う。</p> <p>（15 豊貞 佳奈子） 生活行為由来環境負荷量の定量化と、快適性に着目した評価に関する研究指導補助を行う。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
（人間環境科学研究科人間環境科学専攻（D））			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特殊研究科目	環境科学特殊研究Ⅱ	<p>（概要） 環境科学特殊研究では、独創性の高い先進的な研究や調査活動を行い、最終的に環境科学特殊研究Ⅲにおいて博士論文を完成させることを目的とする。環境科学特殊研究Ⅱでは、環境科学特殊研究Ⅰの最終段階で実施する研究中間報告会を受けて、研究の進捗状況を再確認し、必要に応じて軌道修正や研究計画の見直しを図る。研究計画に見直しを加えた上で、環境科学特殊研究Ⅰから進めてきた研究テーマをさらに進捗させる。環境科学特殊研究Ⅰの到達点を踏まえて、研究成果を取りまとめて、学会発表を行う。進捗状況に応じて、研究成果を論文に取りまとめる。</p> <p>（1 森田 健） 生活環境の光・照明などの視環境要素が、ヒトの生体リズムに及ぼす影響に関する研究指導を行う。</p> <p>（3 池田 宜弘） 物理化学・熱力学・統計力学の学問領域の研究手法を用いて、界面現象および界面における両親媒性物質の挙動の解明に関する研究指導を行う。</p> <p>（4 庄山 茂子） ヒトの心理生理反応、生活行動を基にした環境デザインに関する研究指導を行う。</p> <p>（5 吉村 利夫） 生活材料学の観点から、環境調和型高分子材料の創製に関する研究指導を行う。</p> <p>（7 馬 昌珍） 生活環境から地域・地球規模までの様々な大気環境問題に関する研究指導を行う。</p> <p>（11 弓削 昌弘） 脊椎動物の初期発生および器官の形成と再生に関する研究指導補助を行う。</p> <p>（12 猪股 伸幸） 野生生物の集団遺伝構造および生物進化機構に関する研究指導を行う。</p> <p>（14 松尾 亮太） 分子生物学・組織化学・生理学的研究手法を用いた脳神経系の機能に関する研究指導を行う。</p> <p>（15 豊貞 佳奈子） 生活行為由来環境負荷量の定量化と、快適性に着目した評価に関する研究指導補助を行う。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
（人間環境科学研究科人間環境科学専攻（D））			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特殊研究科目	環境科学特殊研究Ⅲ	<p>（概要） 環境科学特殊研究では、独創性の高い先進的な研究や調査活動を行い、最終的に環境科学特殊研究Ⅲにおいて博士論文を完成させることを目的とする。環境科学特殊研究Ⅲでは、環境科学特殊研究Ⅱの研究成果を評価して、研究の方向性や仮説の妥当性について検証する。さらに問題点を洗い出して、問題点の解決のために必要な実験研究を実施する。一連の特別研究の集大成として、研究成果を博士論文としてまとめ結実させる。博士論文の作成と共に、研究成果を公聴会で発表することによって、広く第三者の評価を仰ぐ。</p> <p>（1 森田 健） 生活環境の光・照明などの視環境要素が、ヒトの生体リズムに及ぼす影響に関する研究指導を行う。</p> <p>（3 池田 宜弘） 物理化学・熱力学・統計力学の学問領域の研究手法を用いて、界面現象および界面における両親媒性物質の挙動の解明に関する研究指導を行う。</p> <p>（4 庄山 茂子） ヒトの心理生理反応、生活行動を基にした環境デザインに関する研究指導を行う。</p> <p>（5 吉村 利夫） 生活材料学の観点から、環境調和型高分子材料の創製に関する研究指導を行う。</p> <p>（7 馬 昌珍） 生活環境から地域・地球規模までの様々な大気環境問題に関する研究指導を行う。</p> <p>（11 弓削 昌弘） 脊椎動物の初期発生および器官の形成と再生に関する研究指導補助を行う。</p> <p>（12 猪股 伸幸） 野生生物の集団遺伝構造および生物進化機構に関する研究指導を行う。</p> <p>（14 松尾 亮太） 分子生物学・組織化学・生理学的研究手法を用いた脳神経系の機能に関する研究指導を行う。</p> <p>（15 豊貞 佳奈子） 生活行為由来環境負荷量の定量化と、快適性に着目した評価に関する研究指導補助を行う。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
（人間環境科学研究科人間環境科学専攻（D））			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特殊 研究 科目	栄養健康科学特殊研究Ⅰ	<p>栄養健康科学特殊研究では、独創性の高い先進的な研究や調査活動を行い、最終的に栄養健康科学特殊研究Ⅲにおいて博士論文を完成させることを目的とする。栄養健康科学特殊研究Ⅰでは、その第一段階として、学生は指導教員の助言の下で、博士論文のテーマを選定して研究計画書を提出し、研究活動をスタートする。このテーマに関する関連分野の論文の講読と内容の発表を行う。また、研究の方向性を探索することを主目的に実験研究を行う。</p> <p>(2 中村 強) 栄養素・食品の新規な生体機能、ならびに各種疾病における予防効果等に関する研究指導を行う。</p> <p>(6 濱田 俊) 栄養素等が神経系に与える影響、味覚器、刺胞動物を用いた進化神経生物学に関する研究指導を行う。</p> <p>(8 太田 雅規) 疫学的な手法を用いた各種疾病の予防や健康増進を目指すための研究指導を行う。</p> <p>(9 新開 章司) 国際的な食料の流通およびフードシステムにおける各主体の行動に関する研究指導を行う。</p> <p>(10 舟木 淳子) 調理・加工に酵素処理等を適用することによる食品物性改変に関する研究指導補助を行う。</p> <p>(13 石川 洋哉) 食品科学・食品分析学の学問領域を主体とした食品成分の二次・三次機能評価および機能性食品の開発に関する研究指導を行う。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
（人間環境科学研究科人間環境科学専攻（D））			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特殊研究科目	栄養健康科学特殊研究Ⅱ	<p>栄養健康科学特殊研究では、独創性の高い先進的な研究や調査活動を行い、最終的に栄養健康科学特殊研究Ⅲにおいて博士論文を完成させることを目的とする。栄養健康科学特殊研究Ⅱでは、栄養健康科学特殊研究Ⅰの最終段階で実施する研究中間報告会を受けて、研究の進捗状況を再確認し、必要に応じて軌道修正や研究計画の見直しを図る。研究計画に見直しを加えた上で、栄養健康科学特殊研究Ⅰから進めてきた研究テーマをさらに進捗させる。栄養健康科学特殊研究Ⅰの到達点を踏まえて、研究成果を取りまとめ、学会発表を行う。進捗状況に応じて、研究成果を論文に取りまとめる。</p> <p>(2 中村 強) 栄養素・食品の新規な生体機能、ならびに各種疾病における予防効果等に関する研究指導を行う。</p> <p>(6 濱田 俊) 栄養素等が神経系に与える影響、味覚器、刺胞動物を用いた進化神経生物学に関する研究指導を行う。</p> <p>(8 太田 雅規) 疫学的な手法を用いた各種疾病の予防や健康増進を目指すための研究指導を行う。</p> <p>(9 新開 章司) 国際的な食料の流通およびフードシステムにおける各主体の行動に関する研究指導を行う。</p> <p>(10 舟木 淳子) 調理・加工に酵素処理等を適用することによる食品物性改変に関する研究指導補助を行う。</p> <p>(13 石川 洋哉) 食品科学・食品分析学の学問領域を主体とした食品成分の二次・三次機能評価および機能性食品の開発に関する研究指導を行う。</p>	



授 業 科 目 の 概 要			
（人間環境科学研究科人間環境科学専攻(D)）			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特殊 研究 科目	栄養健康科学特殊研究Ⅲ	<p>栄養健康科学特殊研究では、独創性の高い先進的な研究や調査活動を行い、最終的に栄養健康科学特殊研究Ⅲにおいて博士論文を完成させることを目的とする。栄養健康科学特殊研究Ⅲでは、栄養健康科学特殊研究Ⅱの研究成果を評価して、研究の方向性や仮説の妥当性について検証する。さらに問題点を洗い出して、問題点の解決のために必要な実験研究を実施する。一連の特別研究の集大成として、研究成果を博士論文としてまとめ結実させる。博士論文の作成と共に、研究成果を公聴会で発表することによって、広く第三者の評価を仰ぐ。</p> <p>(2 中村 強) 栄養素・食品の新規な生体機能、ならびに各種疾病における予防効果等に関する研究指導を行う。</p> <p>(6 濱田 俊) 栄養素等が神経系に与える影響、味覚器、刺胞動物を用いた進化神経生物学に関する研究指導を行う。</p> <p>(8 太田 雅規) 疫学的な手法を用いた各種疾病の予防や健康増進を目指すための研究指導を行う。</p> <p>(9 新開 章司) 国際的な食料の流通およびフードシステムにおける各主体の行動に関する研究指導を行う。</p> <p>(10 舟木 淳子) 調理・加工に酵素処理等を適用することによる食品物性変化に関する研究指導補助を行う。</p> <p>(13 石川 洋哉) 食品科学・食品分析学の学問領域を主体とした食品成分の二次・三次機能評価および機能性食品の開発に関する研究指導を行う。</p>	